

日本福祉のまちづくり学会 サイン環境特別研究委員会

研究会「観光地におけるサイン環境を考える in 松江」



サイン環境特別研究委員会では、サイン環境研究シリーズとして、第一弾「まちの色のサインを考える」、第二弾「基礎から考える音サイン環境」を開催してまいりました。今回第三弾として、「観光地におけるサイン環境を考える in 松江」を開催し、多様な利用者が多く訪れる観光地における、安全快適でわかりやすい移動環境を実現するための必要なデザイン手法について、研究報告と今後の課題等を意見交換会で議論します。多くの皆様にご参加いただけると幸甚です。

委員長 田中 直人

主旨説明 田中 直人（島根大学）

第1部 松江市および他市におけるサイン環境の報告

- (1) 松江市における観光施策と環境整備 : 高木 博（松江市産業観光部次長）
- (2) 松江市におけるサイン環境の報告
 - ① 松江城周辺のサイン環境 : 小杉 翔（島根大学田中研究室）
 - ② 玉造温泉のサイン環境 : 中野 惇, 坪倉 実希（島根大学田中研究室）
- (3) 姫路城周辺のサイン環境の報告 : 岩田 三千子（摂南大学）
: 大森 清博（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）
- (4) 金沢城周辺のサイン環境の報告 : 土田 義郎（金沢工業大学）

- 休憩 -

第2部 サイン環境をとりまく課題と意見交換

- (5) 国の動きや施策 : 北川 博巳（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）
- (6) 防災・減災のサイン : 池田 典弘（キクテック）
- (7) 知的障害者を考慮したサイン : 二井 るり子（二井清治建築研究所）
- (8) 意見交換 : 全 員
- (9) まとめ : 田中 直人（前掲）

主 催：日本福祉のまちづくり学会サイン環境特別研究委員会

会 場：松江テルサ（定員 60 名）（島根県松江市朝日町 478-18）

会 費：500 円（資料代含む ただし会員、学生は無料）

日 時：2016 年 11 月 19 日（土） 13 時開場、研究会 13 時 30 分～ 16 時 30 分

【申込・問い合わせ】

E-mail : t-naoto@riko.shimane-u.ac.jp 島根大学大学院 田中直人 宛
